奈良時代

名前

問1 大和政権が九州北部に配置した「防人」について、その制度の背景や特徴として正しい説明を選びなさい。 （2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅の攻撃に備えるために設置された。
2. 平安時代、東北地方の蝦夷を制圧するために設置された。
3. 明治時代、ロシアの南下政策に備えて北海道の警備のために設置された。
4. 鎌倉時代、元軍による2度の来襲（元寇）をきっかけに設置された。

問2 聖武天皇が発した「大仏造立の詔」には、「富のある者も、労働力を提供する者も、一枝の草や一握りの土を持ち寄るような気持ちで協力してほしい」という意図が記されています。この事業を円滑に進めるため、聖武天皇が民衆の協力を得るために協力させた人物と、その背景の組み合わせとして適切なものはどれですか。 （2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 唐から招いた鑑真に命じて、仏教の厳しい戒律を民衆に守らせることで労働を強いた
2. 有力貴族の藤原氏を動員し、荘園の農民を強制的に都へ連行して工事を行わせた
3. 民衆から絶大な支持を受けていた僧の行基を起用し、資金や人手を集めさせた
4. 摂政であった聖徳太子に命じて、十七条の憲法によって役人の規律を正させた

問3 奈良時代、聖武天皇は相次ぐ反乱や疫病といった社会不安を鎮め、国家を安定させるために仏教の力を利用しようと考えました。このように、仏教の教えによって国を守ろうとする思想を何と呼びますか。 （2026年 北海道公立入試 類似）

1. 尊王攘夷の思想
2. 末法思想
3. 鎮護国家の思想
4. 神仏習合の思想

問4 743年に制定された、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めた法令を何といいますか。 （2022年 愛媛県公立入試 類似）

1. 班田収授法
2. 墾田永年私財法
3. 三世一身の法
4. 大宝律令

問5 奈良時代の国際交流と、当時の都の構造に関する記述として、最も適切な組み合わせを選びなさい。なお、当時の都には中央を南北に貫く大規模な道路が整備され、計画的な都市造りが行われていました。 （2023年 愛知県公立入試 類似）

1. 東海道が中央を通り、渤海から派遣された使節によって仏教の経典が独占的に輸入された。
2. 御堂筋が中央を通り、モンゴル帝国から伝わった建築技術で平城宮が建設された。
3. 北条大路が中央を通り、宋との正式な国交を通じて貨幣経済が急速に浸透した。
4. 朱雀大路が中央を通り、シルクロードを通じて唐やイスラム帝国の物品がもたらされた。

問6 奈良時代の律令制度において、地方の特産物である絹や布、あるいは各地で採れる海産物などを中央の都（平城京）まで運び、納めることが義務付けられていた税を何というか。 （2021年 奈良県公立入試 類似）

1. 庸
2. 調
3. 雑徭
4. 租

問7 律令制度のもとで、6歳以上のすべての人々に男女の別なく与えられた土地を何といいますか。この土地は、受け取った本人が亡くなると国に返還する決まりとなっていました。 （2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 惣
2. 名主
3. 口分田
4. 地券

問8 大宝律令が定められた後の社会では、政府は人々の名前や性別を記録した戸籍を作成し、それをもとに口分田を人々に分け与える仕組みを整えました。この制度において、収穫した稲の約3%を納める「租」とともに、地方の特産物を都まで運んで納める義務のことを何と呼びますか。 （2018年 滋賀県公立入試 類似）

1. 雑徭
2. 調
3. 防人
4. 庸

問9 古代の律令制度において、戸籍に基づいて人々に割り当てられた「口分田」に関連し、その土地の面積に応じて収穫した稲を納める義務があった税の名称を答えなさい。 （2025年 岐阜県公立入試 類似）

1. 租
2. 庸
3. 調
4. 公事

問10 奈良時代の貴族の食生活を記した資料からは、都で千葉県産のアワビや石川県産のサバといった全国各地の特産物が消費されていたことがわかります。このように、各地の産物を都まで運び、中央政府へ直接納めるよう定められた税の仕組みを何と呼びますか。 （2022年 広島県公立入試 類似）

1. 庸
2. 公事
3. 調
4. 租

問11 奈良時代の平城京を中心とした国づくりにおいて、仏教の力で国の不安を取り除こうとする「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺・国分尼寺を建て、東大寺に大仏を造立した天皇は誰ですか。 （2021年 岐阜県公立入試 類似）

1. 聖武天皇
2. 藤原道長
3. 聖徳太子
4. 天智天皇

問12 古代において、東アジアと西アジアやインドを結び、物資や文化の交流を可能にした交易路がある。東大寺正倉院に収められた宝物にも、この交易路を通じてもたらされた西方の影響が見られるが、この道の名称として最も適切なものはどれか。 （2025年 青森県公立入試 類似）

1. シルクロード（絹の道）
2. 中山道
3. コロンブスの航路
4. 東海道

問13 743年に発布された、自ら新しく開墾した土地を期限なく永代にわたって自分のものにできるとした法律を何といいますか。 （2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 墾田永年私財法
2. 地租改正法
3. 班田収授法
4. 三世一身の法

問14 律令制度において、各地の特産物である絹や布、あるいは海産物の加工品などを都まで運び、直接納めることが義務付けられていた税を何と呼びますか。 （2016年 山形県公立入試 類似）

1. 調
2. 庸
3. 租
4. 雑徭

問15 聖武天皇が多大な労力と費用をかけて東大寺の大仏を造立しようと考えた、当時の社会的な背景として正しいものはどれですか。 （2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 伝染病の流行や政治的な動揺が続いたため、仏教の力で人々の不安を解消し国を安定させたかったから
2. 新しい都である平安京への遷都にあたり、旧勢力を牽制するために巨大な権威を示す必要があったから
3. 墾田永年私財法によって得た私有地の開墾が順調に進んだため、農民に感謝を伝える祭礼の場が必要だったから
4. 唐（中国）からの軍事的侵攻に備えるため、強力な神仏の加護を得て海岸線の防備を固めたかったから

答え合わせ・解説

問1	答え 1 白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅の攻撃に備えるために設置された。	防人は律令国家が成立していく過程で、特に国際的な緊張が高まった時期に強化された軍事制度です。663年の白村江の戦いでの敗北という歴史的背景をきっかけに、大陸に近い九州北部（現在の福岡県周辺）の警備が最優先事項となり、東国などから多くの兵士が送られることになりました。
問2	答え 3 民衆から絶大な支持を受けていた僧の行基を起用し、資金や人手を集めさせた	聖武天皇は大仏造立を国家の強制的な事業とするのではなく、広く民衆が自発的に参加する形を理想としました。そのため、当時は政府の許可なく布教を行い弾圧の対象であったものの、橋の建設やため池の築造などの社会事業を通じて民衆から深く慕われていた僧の行基を登用しました。行基は大仏造立の責任者（勧進）として、多くの人々から寄付や労働力を募る役割を果たしました。
問3	答え 3 鎮護国家の思想	聖武天皇の時代は、天然痘の流行や藤原広嗣の乱など、社会的に不安定な状況が続いていました。これらを解決するために、仏教の教えを政治に取り入れ、国家の安泰を願う「鎮護国家」の思想が推進されました。その具体的な施策として、全国に国分寺・国分尼寺が建立されることとなりました。
問4	答え 2 墾田永年私財法	聖武天皇の時代である743年に出されたこの法令は、自分で新しく切り開いた土地を永久に私有（私財）することを認めたものです。それまでの「三世一身の法」では三代（または本人一代）限りの所有しか認められていませんでしたが、この法令によって私有地を認める方針へと大きく転換しました。
問5	答え 4 朱雀大路が中央を通り、シルクロードを通じて唐やイスラム帝国の物品がもたらされた。	平城京の中央を南北に走るメインストリートは朱雀大路と呼ばれ、その幅は約74メートルに及ぶ巨大なものでした。この都には遣唐使などによってもたらされた大陸の最新文化が集積しました。正倉院の宝物に見られるように、ペルシャ（イスラム帝国周辺）のデザインの影響を受けた工芸品などが残されていることは、平城京がシルクロードを介したユーラシア大陸のネットワークに繋がっていたことを物語っています。
問6	答え 2 調	律令制度における租税のうち、絹・布・海産物などの特産物を納めるものが「調」です。これに対し、田の収穫から約3%の稲を納めるものは「租」、都での労役（歳役）の代わりに布を納めるものは「庸」と呼ばれます。調と庸は、納税者が自ら都まで運ぶ負担（運脚）も伴っており、国家の財政を支える重要な財源でした。
問7	答え 3 口分田	律令制度における「班田収授の法」に基づき、戸籍に登録された人々に一定の土地を与える仕組みがとられました。この土地を口分田と呼び、6歳以上の男女に与えられる代わりに、収穫した稲の一部を納める「租」や、公共の土木工事などに従事する「労役」といった負担が義務づけられました。
問8	答え 2 調	律令制下では、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与える班田収授法が行われました。土地を与えられた農民には重い税が課されており、収穫した稲を納める「租」のほかに、各地の特産品（絹や布、糸、海産物など）を都まで直接運んで納める「調」という負担がありました。このほか、都での労役の代わりに布を納める「庸」なども存在し、農民の生活を圧迫しました。
問9	答え 1 租	律令国家では班田収授の法により、6歳以上の男女に口分田が与えられました。この土地の面積（段数）に応じて、収穫した稲の3%程度を納める税が「租」です。これに対し、地方の特産物を納めるのは「調」、都での労役の代わりに布を納めるのは「庸」と呼ばれます。
問10	答え 3 調	律令国家の税制において、成人男性には「租・庸・調」などの負担が課せられていました。口分田の面積に応じて稲を納める「租」に対し、各地の特産物（布、魚介類、塩など）を都まで運んで納める義務が「調」です。この制度により、中央の貴族は全国から集まる多様な食材や物資を利用することが可能になり、天皇を中心とした中央集権的な経済構造が支えられていました。
問11	答え 1 聖武天皇	奈良時代、社会の混乱や伝染病の流行が続くなか、仏教の力によって国家を安定させようという政策がとられました。この政策を推進したのが聖武天皇であり、皇后である光明皇后とともに仏教を厚く信仰し、都の東大寺に巨大な大仏を建立しました。聖徳太子は飛鳥時代、天智天皇（中大兄皇子）は公地公民を定めた大化の改新、藤原道長は平安時代の摂関政治の人物です。
問12	答え 1 シルクロード（絹の道）	奈良時代の天平文化は、遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受けているが、当時の唐は西アジアやインドなどとの交流が盛んであった。この東西交流を支えた内陸の交易路は、中国の特産品である絹が多く運ばれたことから「シルクロード（絹の道）」と呼ばれる。正倉院には、この道を経て伝わったガラス容器や楽器などが収蔵されており、国際色豊かな特徴を示している。「東海道」は江戸時代に整備された日本の五街道の一つであり、時代や場所が異なる。
問13	答え 1 墾田永年私財法	奈良時代、人口の増加に伴って口分田が不足したため、政府は土地の開墾を奨励しました。723年に出された三世一身の法では私有期間に制限がありましたが、この法律によって永代の私有（永久私有）が認められるようになりました。これがきっかけとなり、公地公民の原則が崩れ、荘園制度へとつながっていきました。
問14	答え 1 調	律令制度の下で成人男性に課せられた税のうち、地方の特産物を納める制度を「調」と呼びます。これに対し、収穫した稲を納めるものは「租」、都での労働（歳役）の代わりに布を納めるものは「庸」、地方での土木工事などの労働は「雑徭」として区別されていました。
問15	答え 1 伝染病の流行や政治的な動揺が続いたため、仏教の力で人々の不安を解消し国を安定させたかったから	当時の日本は、天然痘（疫病）の爆発的な流行や、藤原広嗣の乱などの政治的な反乱により、社会全体が非常に混乱していました。聖武天皇はこうした危機的な状況を乗り越えるため、国家の力を結集して巨大な大仏を造り、人々の心を一つにまとめようと考えました。